令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験　専門科目
教育科学専攻　教授学習科学プログラム　学習支援科学コース　特別支援教育学分野

出題の意図等

特別支援教育学分野では，特別支援教育の教育内容や教育方法に関する基本的な専門的知識・技能を共通の基盤としつつ，対象とする障害種や自身の研究課題によって異なる専門性を有する人材を求めている。そのため，共通問題に加え，対象となる障害種や研究領域ごとの選択問題を設定している。それぞれにおける出題の意図は，次のとおりである。
なお，本科目の問題は，一義的な解答が示せない記述式の問題に該当する。解答の多様性や独自性は大学院入学試験における重要な評価ポイントであるため，解答又は解答例の記載は省略する。

分野共通問題

特別支援教育学における重要概念，重要用語に関する知識と説明力，実践への応用力を問う問題である。

（解答のポイント）出題された項目に関し，特別支援教育の実情や障害種の違いなどを踏まえて適切に説明されているか，教育実践上の課題に適切に言及されているか，教育活動や指導内容について具体的に論じられているかを評価する。理論や概念，また，実際の事象などに言及した場合は，それらが適切に使用されていること，さらに，論理的に矛盾なく構成された解答であることが重要である。

分野選択問題

研究領域や対象となる障害種ごとの重要概念，重要用語に関する専門的知識と説明力を問う問題である。

（解答のポイント）出題された項目に関し，障害の特徴やそれに伴う困難さ，特別支援教育の実情を踏まえて適切に説明されているか，教育活動や指導内容について論じられているかを評価する。理論や概念，また，実際の事象などに言及した場合は，それらが適切に使用されていること，さらに，論理的に矛盾なく構成された解答であることが重要である。